

山口県議会ベトナム・ホーチミン市訪問報告書

(令和8年2月25日～2月28日)

議 員 吉 田 充 宏

議 員 畑 原 勇 太



【 目 次 】

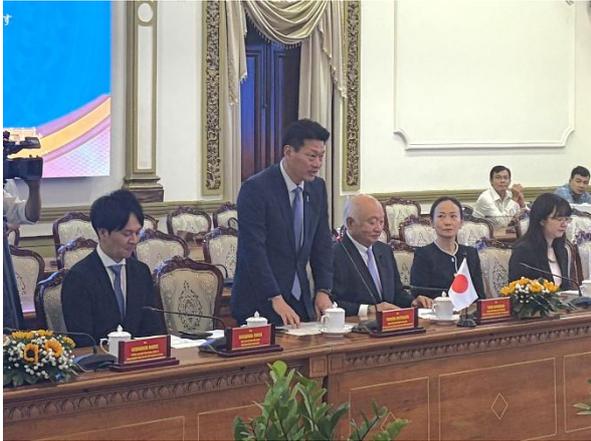
○ベトナム・ホーチミン市訪問を通して	1
・ 2月26日(木) [ホーチミン市]	3
・ 2月27日(金) [ホーチミン市]	7
○ベトナム・ホーチミン市訪問を終えて	9
○訪問日程、訪問団名簿	11

ベトナム・ホーチミン市訪問を通して

議 員

日越友好促進山口県議会議員連盟会長 吉 田 充 宏

このたび、ベトナム・ホーチミン市への派遣という貴重な機会をいただき、関係の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。



ホーチミン市人民評議会でのあいさつ

平成 26 年（2014 年）12 月、山口県とベトナム・ビンズン省、山口県議会とビンズン省人民議会が、それぞれ友好交流に関する覚書を締結しました。

以来、両県省議会間の相互交流を進めるとともに、両県省による、経済、教育、文化など幅広い分野での交流を後押ししてまいり、令和 6 年（2024 年）には覚書締結 10 周年の節目として、県議会訪問団がベトナムに派遣されたところです。

こうした中、昨年 7 月、ベトナム政府による省・市再編に伴い、ビンズン省がホーチミン市、バリアブントウ省と合併し、人口 1,400 万人を超える巨大都市となるホーチミン市が、新たに誕生しました。

昨年 11 月、ホーチミン市人民評議会のヴォー・ヴァン・ミン議長をはじめとするホーチミン市訪問団が来県され、ビンズン省人民議会と締結した覚書はホーチミン市人民評議会に継承されること、適切な時期に、両県市議会間で、友好交流に関する覚書を締結することなどについて合意をしていましたが、このたび、ホーチミン市人民評議会から、両県市議会による新たな覚書を締結したいと招待を受けたことから、柳居議長、畑原議会運営委員長とともに訪問してまいりました。

訪問中は、覚書締結のほか、ホーチミン市人民委員会への表敬訪問、ベカメックスグループや日系企業を訪問し、ベトナム最大の経済・商業都市であるホーチミン市の現状や省・市再編後の市の発展の方向性、幅広い分野での交流について、精力的に意見交換を行ってまいりました。

最大の目的であるホーチミン市人民評議会への表敬訪問と覚書締結式では、在ホーチミン日本国総領事館の大迫副領事のほか、日系企業の代表者が同席する中、ヴォー・ヴァン・ミン議長をはじめ、各委員会委員長に御出迎えいただき、和やかで友好的な雰囲気の中、意見交換を行うことができました。

ヴォー・ヴァン・ミン議長からは、ホーチミン市は山口県との協力関係を特に重視しており、長年にわたり築かれてきた友好の伝統を、維持・発展させたいと考えている。両県市議会は、政治的信頼関係を強化するとともに、政策立案の経験を共有し、両地域間の協力プログラムを監督する公式かつ持続的な対話の仕組みを確立し、両県市の関係をさらに高い段階へ発展させたいとの御意見を伺いました。

これを受け、柳居議長からは、地方レベルでの交流、政策の継続性、末永い友好親善を期待するとの意見を述べました。

その後、柳居議長とヴォー・ヴァン・ミン議長との間で、友好親善交流に関する覚書の署名がなされ、私共もこの立会人として、見届けることができました。

今回の覚書締結は、ホーチミン市人民評議会と日本の地方議会が締結する初めての事例と伺っており、また、旧ビンズン省人民委員会委員長であったヴォー・ヴァン・ミン議長との間で覚書を締結できましたことは、大変意義深いことであると感じております。

このたび、訪問の先々において、山口県と旧ビンズン省との10年以上にわたる友好関係を大変評価しているとの声をいただきましたが、これまでの交流の積み重ねの上に、ホーチミン市と新たに信頼関係が構築されたことに喜びを感じるとともに、今回の訪越を通じて得られた成果が、両県市間の様々な分野における交流をさらに促進し、さらに高いレベルでの包括的戦略的パートナーシップ構築の礎となるものと確信しております。

このたびの覚書締結を新たな節目とし、議会間での交流をより一層深化させ、両県市の発展並びに山口県とホーチミン市、そして日本とベトナムの友好交流促進に寄与できるよう、日越友好促進山口県議会議員連盟会長として、全力で取り組んで参りたいと思います。

また、今回、山口県とホーチミン市人民委員会間の覚書締結に先行して議会間で覚書を締結してまいりましたが、今後、両県市間においても、友好親善交流の取組が進むよう、後押しして参りたいと思います。



ドゥック人民委員長への表敬訪問

結びに、今回の訪問にあたりまして格別な御理解と御協力を賜りました関係者各位に対し、厚くお礼を申し上げます。

令和8年3月

2月26日（木）〔ホーチミン市〕

■野村不動産ベトナム訪問

野村不動産株式会社の現地法人である野村不動産ベトナムを訪問し、東社長をはじめ、同社幹部の方々に面会し、ベトナムでの取組やホーチミン市の概要についての説明を受け、意見交換を行った。

人口約 1,400 万人のホーチミン市は、ベトナム最大の商業・経済都市であり、経済活動や市場の中心地として重要な役割を果たしており、特に海外直接投資（FDI）の受入都市として圧倒的な規模を誇っているとの説明があった。

また、令和7年（2025年）7月に行われた省・市再編により、ホーチミン市では地域特性に応じた戦略的な開発が進められており、今後さらに発展が期待される地域として、日本企業から、幅広い業種の多くの企業が進出しているとの説明があり、この都市がベトナムの経済成長を牽引する重要な拠点であることを改めて認識した。

野村不動産ベトナムでは、ベトナムの人口ボーナス期を踏まえた長期的な投資計画を推進し、ベトナム経済への貢献を通じて自社の成長を目指しておられ、ベトナム国内市場での競争力を高めるためには、許認可問題への迅速かつ適切な対応、現地の信頼できるパートナーの選定が重要であり、他の日系企業やベトナム地元企業との連携を強化しながら、ホーチミン市での新規投資案件への注力が進められているとの説明があった。

また、ベトナムでは、優秀な人材の獲得競争が激化しており、採用の難しさが課題として挙げられ、現地での人材育成や就業環境の整備が求められているとの説明があった。



野村不動産ベトナムによる説明

■ベカメックスグループ訪問

ホーチミン市の市営デベロッパーであるベカメックスグループを訪問し、グエン・ヴァン・フン会長をはじめ、同社幹部の方々に面会し、省・市再編後のベカメックスグループの取組や事業展開について、ビデオ上映を交えた説明を受けるとともに、意見交換を行った。

省・市再編後のホーチミン市の開発計画において、旧ビンズン省および旧バリアブンタウ省は重要な役割を担っている。

旧ビンズン省にあっては、工業にとどまらず、高度技術や科学技術の発展に焦点を当てた計画が進行中であることや、再生可能エネルギーの活用、カーボンニュートラルに対応した新世代型工業団地や公共交通、物流の開発の検討を進めており、こうした取組を通じて、市民の生活水準向上、企業ニーズに応えるべく高度人材の育成を図りたいとの説明があった。

また、こうした取組を実現するには、山口県とホーチミン市の協力関係はとても大事であり、山口県とホーチミン市の企業間の協力した取組に期待しているとの意見が示された。

意見交換に同席したホーチミン市人民評議会関係者から、ホーチミン市に通勤、通学している関係人口を合わせると2,000万人となる。

ホーチミン市には開発の余地がたくさんあり、山口県をはじめとする日本の各自治体との友好関係を生かし、更なる日本からの企業誘致への期待が示された。



意見交換の様子



ベカメックスグループへの訪問

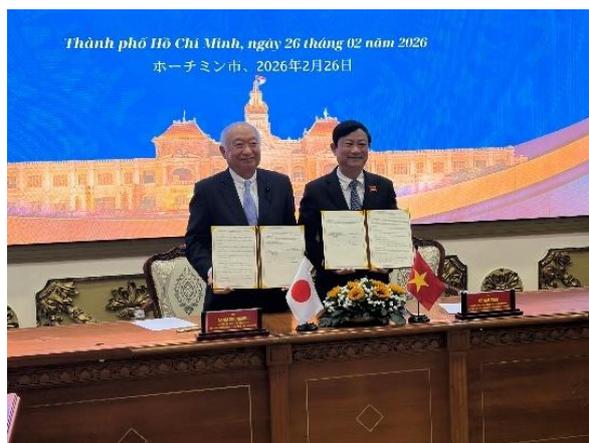
■ホーチミン市人民評議会表敬訪問、覚書締結式

ベトナムにおける省・市再編に伴い、平成26年（2014年）12月にビンズン省人民議会と締結していた友好交流に関する覚書をホーチミン市人民評議会に継承し、友好協力関係を構築する覚書を締結するため、ホーチミン市人民評議会のヴォー・ヴァン・ミン議長をはじめ、同市人民評議会要人を表敬訪問した。

県議会からは、柳居議長をはじめとする議員訪問団に加え、在ホーチミン日本総領事館副領事なども参加し、意見交換後、柳居議長とヴォー・ヴァン・ミン議長との間で、友好親善交流に関する覚書の署名が行われた。

意見交換では、人民評議会より、ホーチミン市は山口県との協力関係を重視しており、旧ビンズン省との交流の時代から、長年にわたり築かれてきた友好を、新たなホーチミン市に継承し、さらに高い段階へと発展させたい。今回の覚書締結は、対話による協力の仕組みを確立し、両州市の関係を新たな発展段階へと引き上げることに寄与するものとの考えが示された。

両州市議会による友好協力関係を構築し、議会間の親善交流・連携を推進するとともに、両州市間における幅広い分野での交流・協力活動への支援を通じ、両州市の発展に向け取り組んでいくことについて、合意した。



覚書締結式



柳居議長による挨拶



日本国山口県議会とベトナム社会主義共和国ホーチミン市人民評議会間の 友好親善交流に関する覚書

日本国山口県議会とベトナム社会主義共和国ホーチミン市人民評議会（以下、「双方」という）は、2014年12月25日に日本国山口県議会とベトナム社会主義共和国ビンズン省人民評議会との間で締結した良好な友好親善交流促進に関する覚書を継承し、両県市の発展に向け、更なる相互理解と友好・協力の強化を図るため、2025年11月27日に署名された合意議事録に基づき、それぞれの役割と権限、両国における法令及び両国が締結している条約に従い、次のとおり合意した。

1. 双方は、友好協力関係を構築し、議会間の親善交流及び関連する各委員会における連携について推進する。
2. 双方は、山口県とホーチミン市間の友好協力関係の継続的な強化に向け、両県市間における幅広い分野での交流・協力活動を支援する。
3. 双方の連絡窓口は、山口県議会事務局およびホーチミン市人民評議会事務局とする。
4. 本覚書は、署名の日から発効する。

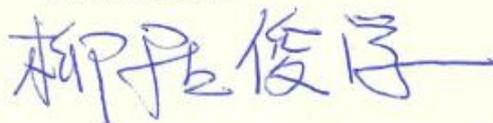
本覚書は、国際法における双方及び両国の権利及び義務に影響を及ぼすものではない。

本覚書の内容は、双方の書面による合意により修正または補足することができる。

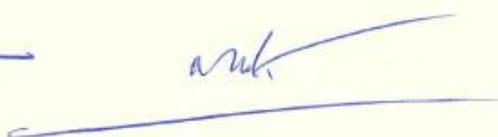
いずれか一方が本覚書の終了を希望する場合、終了予定日の少なくとも3ヶ月前までに、他方に対して書面により通知する。

本覚書は、2026年2月26日にホーチミン市において、日本語及びベトナム語により各2通作成し、双方は、本覚書の実施のために、それぞれの正文を1部ずつ保有する。いずれの言語の本文も等しく正文としての効力を有する。

日本国
山口県議会議長



ベトナム社会主義共和国
ホーチミン市人民評議会議長



今回締結した覚書

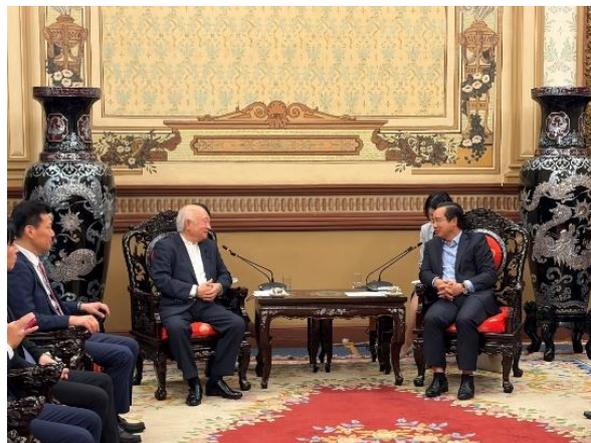
2月27日（金）〔ホーチミン市〕 ■ホーチミン市人民委員会表敬訪問

グエン・ヴァン・ドゥック委員長をはじめホーチミン市人民委員会幹部の方々を表敬訪問した。

ドゥック委員長から、ホーチミン市は、山口県と旧ビンズン省との友好関係をとても大切にしていると評価を示された。

また、新たなホーチミン市の発展の方向性として、ホーチミン市都市中心部、ビンズン地域、バリアブントウ地域の各地域特性に応じた開発を進めることとしており、こうした発展の方向性について、ハイテク工業団地を有する山口県と適切なパートナーシップを得られることを期待しているとの意見があった。

柳居議長からは、現在、山口県では脱炭素社会の実現に向けたGX戦略地域の選定に向けた取組や、本県の港湾の状況等について説明され、経済分野での協力など、一層の交流を深めることで、両県市の発展に寄与することを念願するとの意見を述べた。



意見交換の様子



意見交換の様子



記念品交換の様子

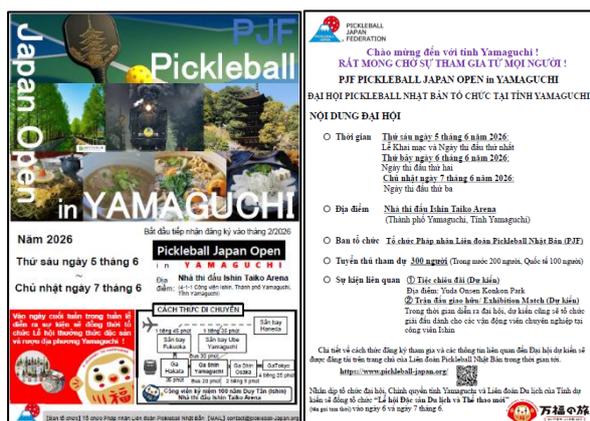
■ピククルボール親善大会への出席

スポーツを通じて、日越両国の選手間の親睦と相互理解を深めることなどを目的に、ホーチミン市内で開催されたピククルボール親善大会に出席し、本年6月に山口市で開催されるピククルボールの国際大会「P J Fピククルボール ジャパン オープン」のPRを行った。

ピククルボールは年齢や経験を問わず誰もが楽しめる魅力的なスポーツとして、ベトナムでは、非常に人気が高まっており、ピククルボール専用コートでの熱気溢れるプレーを観戦し、その熱を感じることができた。



議長あいさつ



ベトナム語による国際大会のチラシ

山口市で開催される同大会に対し関心を示され、大会への申込方法等について、改めて案内することを伝えた。

スポーツや文化を通じた交流は、言葉や文化の違いを超えて人と人を結び、相互理解と友情を育む力があることから、ピククルボール国際大会等を通じ、相互交流が図られるよう、後押ししていく。



出場選手との記念撮影



大会の様子

ベトナム・ホーチミン市訪問を終えて

議 員

議会運営委員長 畑 原 勇 太

ベトナム訪問を終えて、こうした貴重な機会を与えていただいた関係の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

ホーチミン市人民評議会との友好親善交流に関する覚書が、柳居議長とヴォー・ヴァン・ミン議長の署名により締結となりました。

この際、ミン議長からは、両縣市議会において対話の仕組みを構築し、経験の共有を図りたいとの意見が示されました。

私も議会運営委員長として、両縣市議会間の連携を推進し、両地域の発展に向け、努めて参ります。



ベカメックスグループ副会長との記念品交換

今回訪問したホーチミン市は、フランス統治時代の影響が残る美しい街並みと高層ビル群が同居する人口 1,400 万人を抱えるメガシティとして、ベトナム経済の中心地・牽引役であり、東南アジア有数の世界都市でもあります。

今後もさらなる成長・発展を目指すべく、昨年7月の省・市再編により、地域ごとに戦略を掲げた開発に取り組んでおり、成長・発展を通じて、市民の生活水準の向上、高度人材の育成を図っていくとの説明を、関係各所で受けました。

また、日系企業である野村不動産ベトナムとの意見交換では、今後もベトナムの人口ボーナス期を踏まえた長期的な投資計画を推進しており、多くの日系企業がホーチミン市に進出している現状について説明を受けました。

今回、短い滞在でしたが、訪問活動を通じてホーチミン市の経済の状況や今後の発展・成長に向けた力強さの一端を肌で感じることができました。

こうした力強さを、本県企業や農林水産物の海外展開の推進、産業人材等の獲得に向けた後押しにより、本県の持続的発展につなげていく必要があると感じました。

また、今回、訪問行事の1つとして、近年ベトナムで人気のスポーツであるピククルボールにより、日越両国の選手間の親睦と相互理解を深めることなどを目的とした親善大会が開催されました。

日越両国の選手のペアにより行われた熱戦に、応援も力が入りました。

ベトナムにおけるピククルボール人気の熱を感じるとともに、スポーツは、言葉や文化の違いを超えて人と人を結び、相互理解と友情を育む力があることを改めて感じたところです。

両国間での経済や産業活動の基礎になるのは、人と人の信頼関係だと思えます。本年6月には、山口市においてピククルボールの国際大会が開催され、



ピククルボール親善大会の様子

ベトナムをはじめ、海外からの選手も参加が予定されています。スポーツや文化活動を通じて、人と人の交流・理解が深まるよう、後押ししてまいりたいと思います。

今回の訪問を通じて得られた成果や旧ビンズン省との10年以上にわたる交流から得られたホーチミン市との新たな絆、意見交換等によって深められた知見を、今後の県政に反映させ、議会活動に活かしていく、その思いを強くしたところです。

今回、ベトナムの旧正月（テト）明けの訪問にも関わらず、大変な準備と訪問の先々で心温まる歓迎を頂きました。

訪問の際に説明や案内等のご対応をいただいた現地の皆様をはじめ、お世話になりました皆様に心から感謝申し上げます。

訪 問 日 程

(2月25日(水) 移動日)

2月26日(木) [ホーチミン市]

- ・野村不動産ベトナム訪問
- ・ベカメックスグループ訪問
- ・ホーチミン市人民評議会表敬訪問、党書締結式

2月27日(金) [ホーチミン市 ⇒ 日本]

- ・ホーチミン市人民委員会表敬訪問
- ・ピククルボール親善大会出席

(2月28日(土) 移動日)

訪 問 団 名 簿

議 員	吉 田 充 宏	自由民主党 (山口市)
議 員	畑 原 勇 太	自由民主党 (岩国市)

随 行	塚 本 敬太郎	議会事務局 議事調査課 主査
-----	---------	----------------